

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY

明治学院大学

マスコミ関係各位

2017年5月29日

明治学院大学が「UNHCR 難民高等教育プログラム」協定締結 ～教育が叶える将来への希望。難民学生を支援～

2017年5月24日、難民を対象とする推薦入学制度「UNHCR 難民高等教育プログラム」に関する協定を、明治学院大学、「国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）」、「国連 UNHCR 協会」の3機関が締結しました。

2018年4月から毎年1名の難民学生を明治学院大学が受け入れ、入学金・学費を全額免除します。また、毎月の修学助成金（生活に要する費用の一部相当額）を支給することで、学業生活を支援します。

5月24日、明治学院大学にて調印式を開催しました。調印式でのコメントは下記のとおりです。

ダーク・ヘベカーUNHCR駐日代表 「プログラムは2006年に開始。現在さまざまな大学で22名の難民学生が学んでいます。この素晴らしいプログラムに、今回、明治学院大学が加わり嬉しく思っています。新たに難民学生が1名受け入れられることになり、本人の将来はもちろん、その家族にも大きな希望がもたらされます。そして周囲の学生にも大きな影響を与えるでしょう。昨年、日本に庇護を求め、難民申請をした人数は過去最多です。将来的に関係をより深められることを楽しみにしています」

滝澤三郎国連 UNHCR 協会理事長 「明治学院大学の教育理念“Do for Others”を体現する新しいプログラムが加わり嬉しく思っています。タイやヨルダンの難民キャンプを訪問すると、難民の若者は将来への希望を見いだせず悩んでいます。難民として日本に来られた人々は、大学での教育を受けられるこのプログラムは夢のようだと喜んでます。生き延びてたどり着き、学び始めた難民学生は、周囲の学生の視野も広げ、学ぶ意欲やインスピレーションを与えます。明治学院大学が推進する『内なる国際化』プログラムにもつながる事業です」

松原康雄学長 「本学の『内なる国際化』プロジェクトがきっかけとなり、昨年夏より、受入についての検討や準備を開始しました。明治学院大学らしいこのプログラムに参加でき、嬉しく思っています。本学の大学生のみならず、明治学院中学校や2つの高等学校の生徒にもよい影響が生まれることと思います。実質的なプログラムとなるよう準備を進めてまいります」

明治学院大学は2018年度からの受入の準備を行ってまいります。
ぜひ、取材をご検討いただきたくよろしくお願い申し上げます。

■「UNHCR 難民高等教育プログラム」詳細 <http://rhep.japanforunhcr.org/>

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当：圓道・濱口

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>



左からヘベカー駐日代表、松原学長、滝澤理事長